



浅田栄次

(1865～1914)

慶応元年、旧徳山藩士の長男として花岡に生まれ、桜馬場小学校（現徳山小学校）を卒業、数年間教壇に立つ。長じて帝国大学に進み、後渡米。

古典諸語の研鑽を積み、旧約聖書原典研究でシカゴ大学開学以来初の博士号を受ける。

帰国後、現在の東京外国語大学の基礎を築き、我が国英語教育の先覚者として、多くの逸材を世に送り出し近代日本の国際化に貢献した。

明治の国際人 浅田栄次生誕150周年記念祭

日時：平成27年10月17日（土）午後1時～3時30分

場所：周南市立徳山小学校講堂《入場無料》（駐車場：同校グラウンド）

テーマ：浅田栄次に還れ！

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| I：「グローバル化と山口県」（仮題） | 13：10～13：40 |
| 講師：ロバート・シャルコフ（山口県立大学 国際文化学部教授） | |
| II：「家庭における浅田栄次—みか子夫人の視点から—」（仮題） | 13：40～14：00 |
| 講師：榎本紀子（浅田栄次の孫・三女清水素子の長女） | |
| 休憩・徳山小学校児童によるミニコンサート | 14：00～14：20 |
| 特別講演：「グローバル社会への提言」（仮題） | 14：20～15：20 |
| 講師：立石博高（東京外国語大学学長） | |

連絡先：〒745-0005 周南市児玉町3-8 河口 昭 方（電話0834-21-0074）

主催：徳山英学会 共催：周南市・周南市教育委員会 後援：山口県教育委員会・下松市教育委員会
防府市教育委員会・光市教育委員会